

# 2022 年度数学教育学会秋季例会プログラム第 1 報 (2022.05.20)

最新情報は、数学教育学会ホームページにて公開いたします。 <http://mes-j.or.jp/>

日 時 9 月 14 日(水)～16 日(金)

会 場 北海道大学

一部オンライン併用 (シンポジウム, オーガナイズドセッション発表者のみ)

全面オンライン開催に変更する可能性もあります。その場合、事前参加申し込みが必要になります。

実行委員長 上野岳史 (酪農学園大学)

実行委員 高村政志 (北海道科学大学) 福井敏英 (河合塾)

伊澤 毅 (北海道科学大学) 西原 繁 (札幌新川高等学校)

顧問 (未定)

9 月 14 日(水)

	第1会場	第2会場	第3会場
9:00～12:00	専門学校・大学分科会 1	統計・情報教育分科会1	歴史・哲学・比較教育分科会
13:00～14:00	第 1 会場 総合講演 (仮題)算数・数学における関数概念の認識発達 二澤 善紀(佛教大)		
14:10～15:40	第 1 会場 Organized Session A (仮題)「割合」はなぜ難しいか? オーガナイザ 白石和夫(文教大学)	第 2 会場 Organized Session B 「(仮題)数学的モデリング研究の今昔」 オーガナイザ 松寄昭雄(埼玉大学)	
15:50～16:50	専門学校・大学分科会 2	統計・情報教育分科会2	教育課程・評価分科会
17:00～18:00	理事会		

9 月 15 日(木)

	第1会場	第2会場	第3会場
9:00～12:00	専門学校・大学分科会3	統計・情報教育分科会3	教員養成・研修分科会
13:00～14:00	第 1 会場 総合講演 (仮題)STEM 教育 鈴木久男(北海道大学大学院理学研究院 (高等教育推進機構))		
14:10～15:40	第 1 会場 シンポジウム 学校変革期における教員養成のあり方 コーディネータ 黒田恭史(京都教育大学) パネリスト 町田彰一郎(埼玉大学名誉教授) 下野宗紀(岐阜県教育委員会 学校支援課長) 矢野博之(大妻女子大学・日本教師教育学会全国区理事)		
15:50～16:50	高等学校分科会1	中学校分科会1	幼稚園・小学校分科会1
17:00～18:00	理事会		

9 月 16 日(金)

	第1会場	第2会場	第3会場
9:00～12:00	高等学校分科会2	中学校分科会2	幼稚園・小学校分科会2

◆参加費：2000 円

◆オンライン開催となる場合、事前の参加申し込みが必要となります。その場合の参加申し込み期間は 2022 年 6 月 30 日～2022 年 8 月 30 日を予定しています。詳細は、決定次第、学会ホームページで公開します。

◆発表申込期間：2022 年 6 月 30 日 (木) ～ 2022 年 7 月 16 日 (土)

学会 Web ページからの申し込みになります。発表希望分科会の指定を忘れないようにお願いします。

◆発表論文送付期間：2022 年 6 月 30 日(木)～ 2022 年 7 月 30 日(土)

発表論文原稿書式を用いて、3 ページ以内で Microsoft Word にて作成し、Word ファイルと PDF ファイルを提出してください。Word, PDF, それぞれのファイルの大きさは 5M バイト以内の制限があります。発表論文原稿書式の Word による ひな型 がホームページからダウンロードできます。

Wordでの送付が困難な場合につきましては、PDFファイルでの送付をお願いします。

提出先は学会ホームページです。別途、発表申し込みが必要です。

シンポジウムと Organized Session での発表論文送付は、コーディネーターやオーガナイザーがまとめて行います。  
パネラーや招待発表者は、コーディネーターやオーガナイザーにメールで送ってください。

- ◆予稿集:予稿集は、著者から提出された原稿をそのまま印刷します。
- ◆プログラム:プログラムを30分刻みで作成します(休憩時間を含む)。発表時間は20分です。座長判断により、分科会の残余時間をディスカッション等にあてることがあります。
- ◆会場に書画カメラはありません。
- ◆例会中の緊急連絡について: 例会の発表が病気などの理由により変更が必要になった場合は、電子メールで、**件名に「緊急」**と書き、本文に理由等を書いて、meeting@mes-j.or.jp 宛にお送りください。  
(緊急連絡の受付は、9月14日(水)より開始し、16日(金)に終了いたします。)

#### ◇分科会担当者

分科会①: 幼稚園・小学校数学教育分科会

渡邊伸樹, 岡部恭幸, 加藤卓, 守屋誠司

分科会②: 中学校数学教育分科会

竹歳賢一, 松崎昭雄, 吉村昇, 白石和夫

分科会③: 高等学校数学教育分科会

及川久遠, 中込雄治, 二澤善紀, 植野義明

分科会④: 専門学校・大学数学教育分科会

愛木豊彦, 渡辺信, 鈴木桜子, 橋口秀子

分科会⑤: 数学教員養成・研修分科会

黒田恭史, 牧下英世

分科会⑥: 歴史・哲学・比較教育分科会

富永雅, 松崎和孝, 西川恭一

分科会⑦: 統計・情報教育分科会

竹内光悦, 船倉武夫, 森園子

分科会⑧: 教育課程・評価分科会

栗原秀幸, 渡邊公夫, 秋田美代

数学教育学会 年会・例会予稿集投稿規定

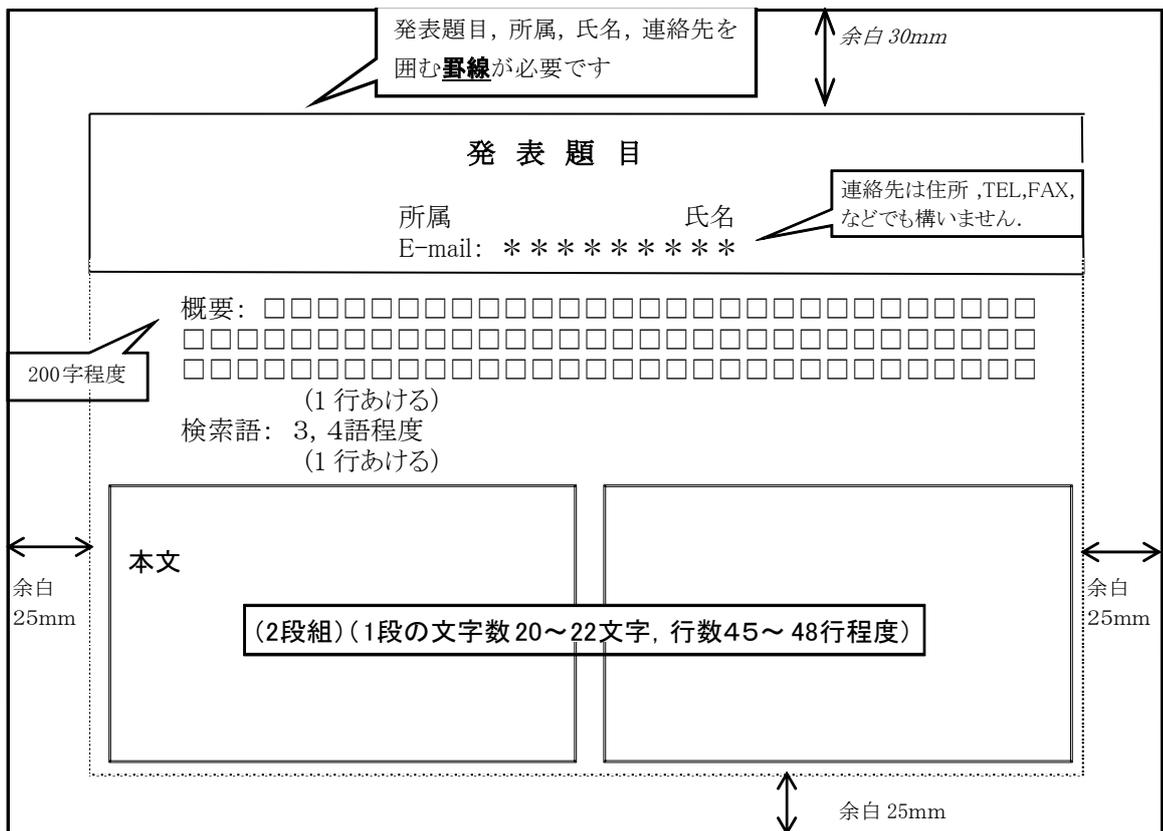
2017. 9. 13

1. 本規定は、年会および例会における一般発表論文について定める。シンポジウム、総合講演、オーガナイズドセッション、SG 報告等については、第6項を適用する。
2. 学部生の発表は、年会に併設される「大学院生等発表会」で行うのを原則とする。
3. 年会または例会において発表を希望する会員は、指定期日までに、題目、氏名(会員番号)、所属、および200字程度の概要とともに発表を申し込む。  
題目は、36文字以内とする。ただし、副題(36文字以内)を追加してもよい。  
所属名は、  
現職教員(専任)は、所属校の名称、  
退職教員は、元 …… , あるいは、……名誉教授、とし、  
学生・生徒は、所属校名に院生、学生、生徒の別を付記するものとする。
4. 第1著者としての発表申し込みは、年会、例会ごとに、各分科会において最大1件とする。
5. 発表を申し込んだ会員は、指定期日までに原稿を提出する。複数著者による連名論文の場合、第1著者は申し込んだ会員でなければならない。
6. 原稿はモノクロ A4版3ページ以内とし、別に定める書式に従って PDF形式のファイルで提出する。

2022年度 数学教育学会秋季年例会 発表原稿書式

1. サイズ…A4版
2. ページ数…3ページ以内
3. 原稿の書式(以下の通りです)

(学会ホームページに掲載されている Word 文書によるひな形をお使いください)



4. 原稿締め切り期日… 2022年7月30日(土) 必着  
(注)期日に間に合わないと、予稿集に載りません。
5. 原稿送付先  
学会 Web に提出先を用意します。  
発表分科会の指定を忘れないようお願いします。
6. 特に発展性のある発表に関しては、本人の自由投稿以外にも、それを認めた分科会担当者から、「学会誌」への推薦を行う場合があります。